

SNSへの投稿がきっかけとなる脅迫被害

自撮り被害児童のほとんどは**中高生**です。ネットの向こうにいる相手の優しい言葉で、あなたを**油断・信用**させ、あなたの個人情報や写真を入手して「ネットにばら撒く」「学校に知らせる」などと**脅迫される被害**に遭わないために、あなたができることは何でしょうか？

同性のステキな友達だと信じていたのに



好きなアーティストの話題で意気投合した同じ年のUさんと直接やり取りを始めたVさん。やがて、誰にも言えない**秘密も打ち明けられる仲**になりました。

写真を送ったら態度が急変、脅迫された



相手に自分の秘密を握られたことで、それをネタに脅され、自分の写真を返信。さらにエスカレートし、**写真付きで秘密をネットに拡散されたくなければ裸の写真を送れ**とさらに脅されました。

- 注意！！
- ①ネット上で知り合った人に、自分や家族、友人の情報を伝えないこと。
 - ②自分の秘密や内緒ごと、友達の情報を打ち明けることで、脅しのネタになってしまう可能性が大いにあります。
 - ③SNS上では、ウソの書き込みや写真の偽装が容易にできるので、**目に見える情報を簡単に信用してはいけません。**

○善人は違法な要求をしない

好奇心を満たす目的で、18歳未満の子の裸や下着姿の写真を持つことは**法律違反**です。「大切にしているから、裸の写真を撮って送って。」は、**相手が悪いこと（違法行為）をしようとしている**という意味だと判断しましょう。

○情報の組み合わせに注意

フォロー相手や友達との会話から名前や学校名が知られてしまうと、顔写真だけでも脅しのネタになる可能性があります。ネットだけの知り合いに、**自分の秘密や内緒ごと、友達の情報**を打ち明けるのはとても危険です。

○深みにはまってしまう前に

「自分だけは大丈夫」と思って注意を怠ることが1番危険です。

「**直接写真をやり取りしないこと**」と「**秘密を話さないこと**」が大切です。

○困ったら、早いうちに、勇気を出して周りの大人（保護者・先生・警察など）に相談をしましょう。